

時と 交差する アート の 展

2024

10月5日 土 ~
10月27日 日

別館開館時間 9:00~16:30 (最終日は16:00まで)
休 館 日 10/7 (月)、10/15 (火)、10/21 (月)
10/16 (水) (工事のため臨時休館)
場 所 国登録有形文化財 旧林家住宅
一宮市尾西歴史民俗資料館 (別館)
一宮市起字下町211番地

入場無料

企画 美術家 大塚将司
ハートフィールドギャラリー 園部知江子

参加作家

浅田 泰子 大塚 将司
加藤 麻子 鳥居 純子
水谷 一子 米山より子
Ilona・ジョス

主催・問い合わせ

美濃路×木曽川

ミュージアム

一宮市尾西歴史民俗資料館

TEL 0586-62-9711

website





【同時開催】
Live Painting Gallery 2024

造形作家北村尚子によるライブペインティング作品の展示です。

10月5日(土)～27日(日)

9:00～17:00 (入館は16:30まで 最終日は16:00まで)

休館日10/7(月)、10/15(火)、10/16(水)、10/21(月)

会 場 一宮市尾西歴史民俗資料館 本館ギャラリー

入場料 無料

北村 尚子 (Kitamura Naoko)

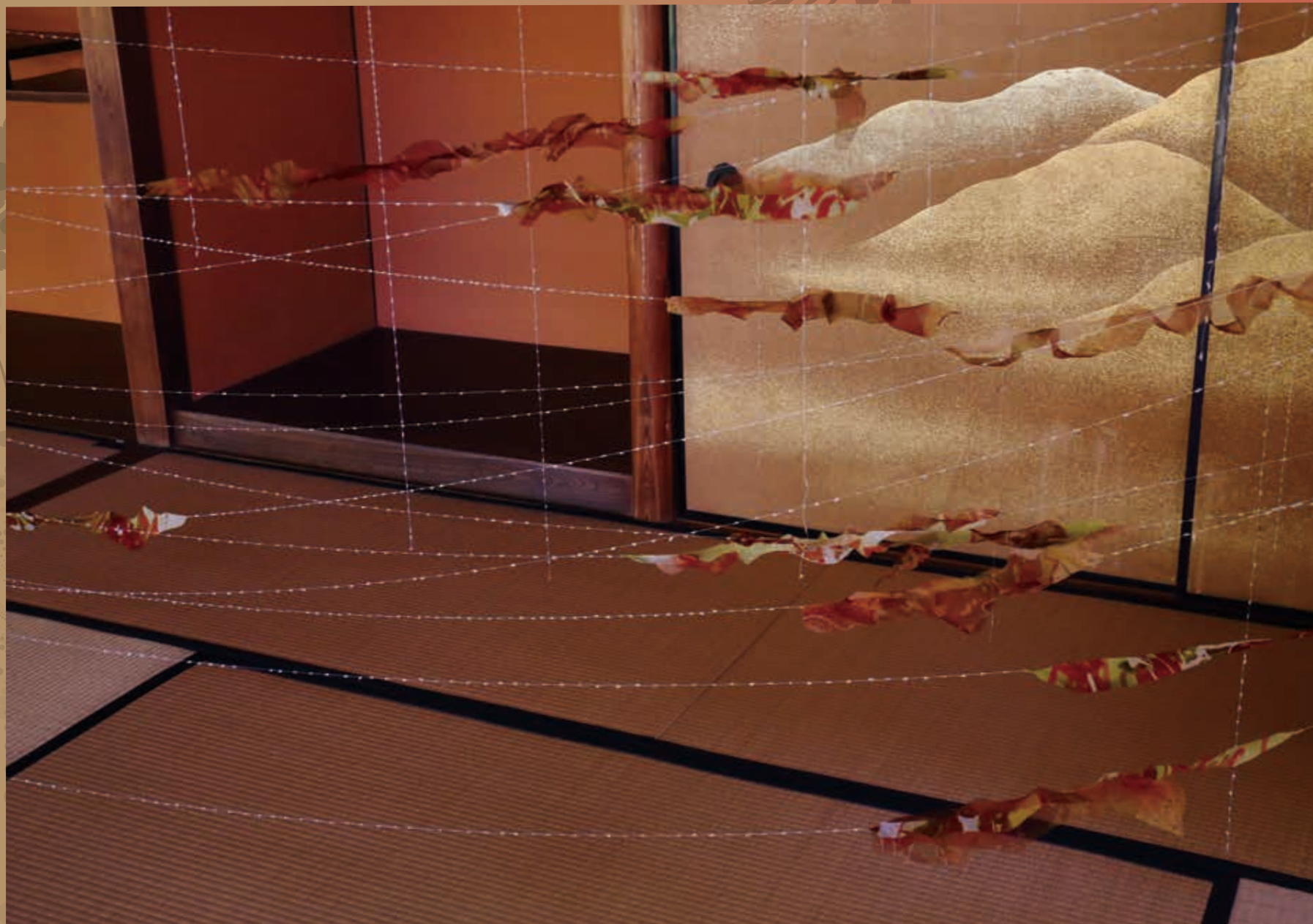
「うけてタツ」キャンバス地にアクリル・オイルクレヨン
1.4m×5m

今年の干支の龍をモチーフにお正月明けに描いた作品です。
1月1日の能登半島地震。何もできない自分はただ祈るしかないそんな中、被災地に花を届けたいという思いでかきました。

龍よとべ
山をこえ、雲をわけ 口に花を咥え
龍よとべ
花が祈りを届けるように
花が癒しをもたらすように
花が笑顔をもたらすように

旧林家住宅は、起宿脇本陣跡地に江戸時代の伝統的な町屋建築の様式を取り入れて大正二年に再建された建物です。旧林家の庭園は枯池を配置した廻遊式の日本庭園です。

建物と庭園、それを守り続けた多くの人々、そして、時の流れが交差して生み出されるアート空間。「時とアートの交差点ー環(めぐ)るー」では、時間を経過したものに、過去・今・未来へと繋がるアートを感じ取ってください。



米山 より子 (Yoneyama Yoriko)
エレンヌ・ジョスペ (Hélène Jospé)
Nagoya&Saint-Etienne Exhibition
「Cross-Textiles」再会

素材／残りご飯、絹糸、リヨントルク
技法／オリジナル、手描き、ろうけつ染め
サイズ／可変

撮影：山口幸一

浅田 泰子
(Asada Yasuko)
「アリスのお茶会」

日本の歴史ある建築物と西洋の古くから語られた皆知る物語をうまく繋げて今回の一環(めぐり)というテーマを表現できないかとこの展示を制作しました。石を見つながら庭を歩いたり、作品の一部になってお茶を頂いたり、楽しみながら作品を体験してみてください。



素材/陶の人形、陶の茶碗と小皿、自分で書いた和紙にアクリル、アール・ブリコラージュ、椅子
サイズ/可変

現代美術作家

1986 愛知県立芸術大学 油画科 卒業 (賞い上げ賞)
2003 Vous etes ici ! / Le Centre d'exposition de Baie-Saint-Paul (カナダ)
2012 現代美術inとよはし/あいちトリエンナーレ地域展開事業実行委員会(豊橋市)
2017 和紙素材の研究展 ossam gallery .bbfl gallery (ブルックリン NY)
2023 特別展 視覚の迷宮 ヒトとイヌの美術館/東大阪市民美術センター(大阪府)

大塚 将司
(Ootsuka Masashi)
「Untitled」

時間とともに形が流れる。偶然なのか必然なのかそこに新しいカタチが生まれる。



素材/ハニカム段ボール、アクリル絵の具
サイズ/可変

美術家 江南市在住 江南市美術協会会長
愛知県立芸術大学美術学部 卒業

2022 江南市美術協会展/Home&nicoホール江南市民文化会館(江南市)
木曽川アートトライアングル/一宮市尾西歴史民俗資料館(一宮市)
一宮アートアニュアル展/一宮市博物館(一宮市)
2023 Cross the river展/Gallery Manantial(岐阜市)
2023 時とアートの交差点オブリカラハジマル/一宮市尾西歴史民俗資料館(一宮市)

加藤 麻子
(Kato Asako)
「Southern Magnolia-blues」

それぞれが、ありのままに、あるがままに、幸せに生きていける世の中であることを願って。



素材/キャンバスにアクリル、テンペラ絵具
サイズ/910mm×606mm

画家 名古屋市在住
武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

2012 「花星めぐり」ハートフィールドギャラリー(名古屋市)
2014 「雪華」ハートフィールドギャラリー(名古屋市)
2016 「星のうた」ハートフィールドギャラリー(名古屋市)
2018 「KOSMOS」ギャルリードゥ・セーヌ・エクス(名古屋市)
「夢に咲く」アチレストラン・イルフェボウ(三重県)
2019 「星花」et.YU 網の子ギャラリー(宮城県)
2021 「Sprout!NISHIAZABU vol.17」大泉工場 NISHIAZABU (東京都)
「花月夜」月の庭(名古屋市)

鳥居 純子
(Torii Junko)
「回」

地中の世界では、植物が根を張り地下水によってたくさんの命が育まれている。見えないところで、あらゆるものが巡り、うごめいている。



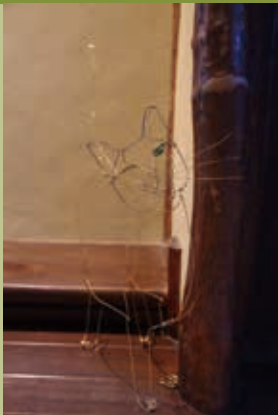
素材/キャンバスにアクリル
サイズ/1810×1810mm

画家 名古屋市在住

2008 個展「dialog」HEART FIELD GALLERY(名古屋市)
2016 個展「koe」TOKI Art Space(東京都)
2016 企画展「未だ見ぬ世界へ」織部亭(一宮市)
2019 個展「それでも想うこと」Gallery Laura(日進市)
2022 企画展「Women2022」ギャラリーK(東京都)
2023 企画展「FOUR MOON」懷韻(名古屋市)
そのほか個展・グループ展多数
受賞歴:第47回愛知県文連美術展 入選

水谷 一子
(Mizutani Hajimeko)
「cat」

歴史ある建物とともに、ゆっくり楽しんでいただけたらと思います。



素材/brass wire,uv resin
サイズ/h480mm×w150mm×d430mm

ワイヤーアート作家 名古屋市在住
名古屋造形芸術短期大学インターメディアコース専攻科修了

2023 「賢 vol.6」/懷韻(名古屋市)
2023 「賢 vol.7」/月の庭(名古屋市)
2023 「Cross the river展」/Gallery Manantial(岐阜市)
2023 「時とアートの交差点 オブリカラハジマル」/一宮市尾西歴史民俗資料館旧林家住宅(一宮市)
2023 「FOUR MOON」/懷韻(名古屋市)

[Nagoya&Saint-Etienne Exhibition 「Cross-Textiles」再会]

素材/残りに紙、絹糸、リヨニシル
技法/オリジナル、手描き、ろうけつ染め
サイズ/可変

2017年に行ったNagoya & Saint-Etienne Exhibition 「Cross-Textiles」
2024年ここで「再会」します。

米山 より子
(Yoneyama Yoriko)

埼玉県生まれ
東京藝術大学大学院美術研究科彫金修了
水、紙、米等を素材として日本の伝統的美術技法を考察し境界をテーマに制作を続ける。

エレンヌ・ジョスぺ
(Hélène Jospé)

フランス在住
Textile painter

アーティストトーク

作家陣による作品解説等を行います。
お気軽にお立ち寄りください。

日時 10月5日(土)
10:30~(1時間程度)

参加費 無料、事前申込不要

場所 旧林家住宅

演奏会 川や水の三味線の音色と
松の下で弾語る常磐津『松の名所』

日時 10月5日(土)
演奏時間 ①13:00~ ②15:00~ (各回約20分)

参加費 無料、事前申込不要

演奏者 ときわつづなほう
常磐津綱嗣

女流常磐津奏者。演奏会や人形浄瑠璃の舞台に立つ傍ら、地域密着型のカフェを作り、併設した檜舞台MINOJIBASEで演奏するなど、周辺地域の文化芸術を盛り上げようと活動している。2023年名古屋市文化振興事業団第39回芸術創造賞を受賞。



場所 旧林家住宅
※演奏中は庭園へは入れません。

ワークショップ ガラスの石に絵を描こう

小石型のガラスに好きな絵を描いてペーパーウェイトを作ります。
ひとつとして同じ形の石はありません。形に歪みがあるので思わぬ面白い作品ができます。大人から子供まで楽しめる内容となっています。

日時 10月12日(土)
開催時間 ①10:30~12:00
②13:00~14:30
③15:00~16:30

講師 浅田泰子

参加費 1人500円

場所 一宮市尾西歴史民俗資料館

定員 各回10名

応募方法
9月23日(月)までに二次元コードまたはURLから申込み。
定員を超えた場合は抽選。



URL
<https://logoform.jp/f/Gu49e>

